

国立民族学博物館研究報告 vol.13-2; 表紙, 目次ほか

雑誌名	国立民族学博物館研究報告
巻	13
号	2
発行年	1988-10-17
URL	http://hdl.handle.net/10502/00009216

1988—13_卷2_号

国立民族学博物館 研究報告

●
舞台装置としての家屋

——東インドネシアにおける家屋のシンボリズムに関する一考察—— 杉島敬志

祭祀と地域性

——ビルマ・ランゲーン研究から—— 高谷紀夫

遍在する邪術，見えない邪術

——北部マダガスカル ツィミヘティ族社会におけるある邪術告発についての一考察—— 深澤秀夫

北太平洋沿岸文化圏

——狩猟採集民からの視点 I —— 渡辺 仁

「ヤクートと家畜」の原像を求めて

——オロンホを読む—— 斎藤晨二

魚醬とナレズシの名称

——魚の発酵製品の研究 (7) —— 石毛直道，崎山 理

アーネムランド・アボリジニ，ジナン族の星まつり

——国立民族学博物館海外映像音響資料収集の記録—— 松山利夫



国立民族学博物館

〒565 大阪府吹田市千里 万博公園 TEL. 06-876-2151

国立民族学博物館研究報告

13 卷 2 号

1988 年

目 次

舞台装置としての家屋

——東インドネシアにおける家屋のシンボリズムに関する一考察—— …………… 杉島敬志 …… 183

祭祀と地域性

——ビルマ・ラングーン研究から—— …………… 高谷紀夫 …… 221

遍在する邪術，見えない邪術

——北部マダガスカル ツィミヘティ族社会における
ある邪術告発についての一考察—— …………… 深澤秀夫 …… 253

北太平洋沿岸文化圏

——狩猟採集民からの視点 I—— …………… 渡辺 仁 …… 297

「ヤクートと家畜」の原像を求めて

——オロンホを読む—— …………… 斎藤晨二 …… 357

魚醬とナレズシの名称

——魚の発酵製品の研究 (7)—— …………… 石毛直道 …… 383
崎山 理

アーネムランド・アボリジニ，ジナン族の屋まつり

——国立民族学博物館海外映像音響資料収集の記録—— …………… 松山利夫 …… 407

彙 報 …………… 437

国立民族学博物館研究報告寄稿要項 …………… 442

国立民族学博物館研究報告執筆要領 …………… 443

BULLETIN OF THE NATIONAL MUSEUM OF ETHNOLOGY

Vol. 13 No. 2

1988

SUGISHIMA, Takashi	House as Setting: On the Symbolism of the House in Eastern Indonesia	183
TAKATANI, Michio	Urban Character of Festivals in Burma	221
FUKAZAWA, Hideo	Some Unconsidered Aspects of Omnipresent and Unseen Sorcery among the Tsimihety of Northern Madagascar	253
WATANABE, Hitoshi	The Northern Pacific Maritime Culture Zone: A Viewpoint from Hunter-Gatherers I	297
SAITO, Shinji	A Tentative Reading of "Olonkho": In Quest of an Original Image of the Yakuts and their Domestic Animals	357
ISHIGE, Naomichi SAKIYAMA, Osamu	An Ethnolinguistic Study of the Nomenclature of Fermented Fish Products in Asia: A Study of Fermented Aquatic Products (7)	383
MATSUYAMA, Toshio	Maradjiri, the Star Ceremony in Djinang: A Record of Making Ethnological Films on Contemporary Arnhem Land Aborigines	407

彙報

(昭和63年4月～
昭和63年6月)

人事異動

(行政職)

(配置換)
4月1日 管理部会計課長 森口 節之
(和歌山大学会計課長)
管理部施設課長 山本 政治
(福井医科大学業務部施設課長)
鹿児島大学経理部主計課長
寺島 裕康
(管理部会計課長)
大阪大学施設部企画課長
川島 英昭
(管理部施設課長)
東京国立文化財研究所庶務課長
池田 義春
(管理部企画課長)
学術情報センター管理部システム管理課長
門田 泰典
(情報管理施設技術室長)
(昇任)
管理部企画課長 奥出 栄治
(文部省大臣官房総務課広報室庶務係長)
情報管理施設技術室長
吉田 哲廣
(熊本大学附属図書館閲覧課図書館専門員)

(教育職)

(名誉教授称号授与)
4月1日 伊藤 幹治
中村俊亀智
(配置換)
4月1日 第三研究部教授 杉本 尚次
(第五研究部教授)
第五研究部教授 藤井 知昭
(第四研究部教授)
(併任)
4月1日 第三研究部長 杉本 尚次
(第五研究部長)
第四研究部長 友枝 啓泰
(第四研究部長)
第五研究部長 藤井 知昭
(第四研究部長)
(採用)
4月1日 第三研究部助手 塚田 誠之
第四研究部助手 朝倉 敏夫
第四研究部助手 林 行夫
(客員研究部門)
4月1日 第一研究部教授 大林 太良
(東京大学教授・第二研究部教授)
第一研究部教授 杉山 晃一
(東北大学教授)

第二研究部教授 板垣 雄三
(東京大学教授)

(昇任)
6月1日 第四研究部助教授 中山 和芳
(第四研究部助手)
京都大学助教授 田中 雅一
(第二研究部助手)
(転任)
6月1日 第二研究部助手 吉田 憲司
(大阪大学助手)

評議員

氏名	任期
伊地智善継	(61. 9. 15~63. 9. 14)
上山春平	(61. 9. 15~63. 9. 14)
岡本道雄	(61. 9. 15~63. 9. 14)
北村甫	(61. 9. 15~63. 9. 14)
木田宏	(61. 9. 15~63. 9. 14)
窪徳忠	(61. 9. 15~63. 9. 14)
熊谷信昭	(61. 9. 15~63. 9. 14)
久山康	(61. 9. 15~63. 9. 14)
鈴木尚	(61. 9. 15~63. 9. 14)
土田直鎮	(61. 9. 15~63. 9. 14)
坪井清足	(61. 9. 15~63. 9. 14)
直江広治	(61. 9. 15~63. 9. 14)
中尾佐助	(61. 9. 15~63. 9. 14)
西島安則	(61. 9. 15~63. 9. 14)
林屋辰三郎	(61. 9. 15~63. 9. 14)
向坊隆	(61. 9. 15~63. 9. 14)
村山松雄	(61. 9. 15~63. 9. 14)
山村雄一	(61. 9. 15~63. 9. 14)

運営協議員

氏名	任期
綾部恒雄	(61. 9. 15~63. 9. 14)
石井米雄	(61. 5. 16~63. 5. 15)
	(63. 5. 16~65. 5. 15)
石川榮吉	(61. 9. 15~63. 9. 14)
伊藤清司	(61. 9. 15~63. 9. 14)
祖父江孝男	(61. 5. 16~63. 5. 15)
	(63. 5. 16~65. 5. 15)
中根千枝	(61. 9. 15~63. 9. 14)
藤岡喜愛	(61. 9. 15~63. 9. 14)
増田昭三	(62. 2. 1~64. 1. 31)
山口昌男	(61. 9. 15~63. 9. 14)
山田隆治	(61. 9. 15~63. 9. 14)
米山俊直	(61. 9. 15~63. 9. 14)
石毛直道	(62. 11. 20~64. 3. 31)
大給近達	(61. 9. 15~63. 9. 14)
君島久子	(62. 4. 1~64. 3. 31)
佐々木高明	(61. 9. 15~63. 9. 14)
杉本尚次	(62. 4. 1~64. 3. 31)
杉村棟	(63. 4. 1~63. 9. 14)
竹村卓二	(62. 4. 1~64. 3. 31)
友枝啓泰	(63. 4. 1~63. 9. 14)
藤井知昭	(61. 9. 15~63. 9. 14)
和田祐一	(61. 9. 15~63. 9. 14)

企画委員

粟津 潔 (62. 4. 1~64. 3. 31)

井上 正 (62.10. 1~64. 3.31)
 五十嵐道子 (62. 4. 1~64. 3.31)
 大貫 良夫 (62. 4. 1~64. 3.31)
 勝井 三雄 (62. 4. 1~64. 3.31)
 加藤 秀俊 (62. 4. 1~64. 3.31)
 川添 登 (62. 4. 1~64. 3.31)
 黒川 紀章 (62. 4. 1~64. 3.31)
 後藤 和彦 (62. 4. 1~64. 3.31)
 小松 左京 (62. 4. 1~64. 3.31)
 高田 宏 (62. 4. 1~64. 3.31)
 田邊 員人 (62. 4. 1~64. 3.31)
 多比良 稔 (62. 4. 1~64. 3.31)
 中山 和彦 (62. 4. 1~64. 3.31)
 米山 俊直 (62. 4. 1~64. 3.31)
 大林 太良 (62. 4. 1~64. 3.31)
 谷 泰 (62. 4. 1~64. 3.31)

電子計算機運営委員

市川 惇信 (62. 4. 1~64. 3.31)
 及川 昭文 (62. 4. 1~64. 3.31)
 大林 太良 (62. 4. 1~64. 3.31)
 国井 利泰 (62. 4. 1~64. 3.31)
 柴田 正美 (62.11.16~64.11.15)
 田中 琢 (62. 4. 1~64. 3.31)
 辻 三郎 (62. 4. 1~64. 3.31)
 長尾 眞 (62. 4. 1~64. 3.31)
 中野 照海 (61.10. 1~63. 9.30)
 中山 和彦 (62. 4. 1~64. 3.31)
 西之園晴夫 (61.10. 1~63. 9.30)
 八村廣三郎 (61.10. 1~63. 9.30)
 星 仰 (62.11.16~64.11.15)
 山中 光一 (62. 4. 1~64. 3.31)
 吉田 将 (62. 4. 1~64. 3.31)
 佐々木高明 (62. 4. 1~64. 3.31)
 大給 近達 (62. 4. 1~64. 3.31)
 藤井 知昭 (62. 4. 1~64. 3.31)
 栗田 靖之 (62. 4. 1~64. 3.31)
 小山 修三 (62. 4. 1~64. 3.31)
 杉田 繁治 (62. 4. 1~64. 3.31)
 和田 浩司 (62. 4. 1~64. 3.31)

国内資料調査委員

石塚 尊俊 (62. 4. 1~64. 3.31)
 泉 房子 (62. 4. 1~64. 3.31)
 犬塚 幹士 (62. 4. 1~64. 3.31)
 今村 充夫 (62. 4. 1~64. 3.31)
 岩井 宏實 (62. 4. 1~64. 3.31)
 上江洲 均 (62. 4. 1~64. 3.31)
 勝部 正郊 (62. 4. 1~64. 3.31)
 萱野 茂 (62. 4. 1~64. 3.31)
 神崎 宣武 (62. 4. 1~64. 3.31)
 木崎 和廣 (62. 4. 1~64. 3.31)
 岸田 定雄 (62. 4. 1~64. 3.31)
 喜多 慶治 (62. 4. 1~64. 3.31)
 倉田 亨 (62. 4. 1~64. 3.31)
 小谷 方明 (62. 4. 1~64. 3.31)
 坂本 正夫 (62. 4. 1~64. 3.31)
 佐野 賢治 (62. 4. 1~64. 3.31)

澤 四郎 (62. 4. 1~64. 3.31)
 下野 敏見 (62. 4. 1~64. 3.31)
 鈴木 尚夫 (62. 4. 1~64. 3.31)
 高橋 克夫 (62. 4. 1~64. 3.31)
 立平 進 (62. 4. 1~64. 3.31)
 田中忠三郎 (62. 4. 1~64. 3.31)
 鶴藤 鹿忠 (62. 4. 1~64. 3.31)
 都丸十九一 (62. 4. 1~64. 3.31)
 西村 綏子 (62. 4. 1~64. 3.31)
 野口 光敏 (62. 4. 1~64. 3.31)
 橋本 鉄男 (62. 4. 1~64. 3.31)
 林 道明 (62. 4. 1~64. 3.31)
 福田 栄治 (62. 4. 1~64. 3.31)
 藤本 英夫 (62. 4. 1~64. 3.31)
 松下 亘 (62. 4. 1~64. 3.31)
 山口 賢俊 (62. 4. 1~64. 3.31)
 山路 興造 (62. 4. 1~64. 3.31)
 和田 正洲 (62. 4. 1~64. 3.31)

館内各種委員会

○標本資料委員会委員

杉本 尚次 佐々木高明 杉村 棟
 大塚 和義 吉田 集而 小川 了
 藤井 龍彦 森田 恒之 利光 有紀
 森口 節之 高橋 柏 川西 正光
 吉田 哲廣

○映像・音響資料委員会委員

竹村 卓二 佐々木高明 大給 近達
 須藤 健一 吉田 集而 大森 康宏
 吉本 忍 櫻井 哲男 森口 節之
 高橋 柏 川西 正光 吉田 哲廣

○図書委員会委員

竹村 卓二 佐々木高明 杉村 棟
 黒田 悦子 崎山 理 守屋 毅
 秋道 智彌 松原 正毅 小川 了
 永ノ尾信悟 大丸 弘 朝倉 敏夫
 森口 節之 川西 正光

○国内資料調査委員会委員

杉本 尚次 佐々木高明 大塚 和義
 守屋 毅 松山 利夫 吉田 憲司
 中牧 弘允 大丸 弘 川西 正光
 櫻井 哲男 森口 節之
 吉田 哲廣

○HRAF 委員会委員

佐々木高明 杉田 繁治 秋道 智彌
 松澤 員子 栗田 靖之 石森 秀三
 福川 圭子 森口 節之 川西 正光
 吉田 哲廣

○情報化委員会委員

佐々木高明 杉田 繁治 松山 利夫
 松澤 員子 栗田 靖之 松原 正毅
 江口 一久 大森 康宏 藤井 龍彦
 大丸 弘 利光 有紀 林 行夫
 福川 圭子 泉 幽香 森口 節之
 高橋 柏 川西 正光 吉田 哲廣

○展示委員会委員

友枝 啓泰 黒田 悦子 杉田 繁治
 大塚 和義 松山 利夫 田邊 繁治

彙 報

端 信行	大森 康宏	永ノ尾信悟	山本 泰則	吉田 憲司	和田 浩司
石森 秀三	野村 雅一	瀬川 昌久	糸金則由紀	森口 節之	奥出 栄治
佐々木史郎	吉本 忍	庄司 博史	高橋 柏	吉田 哲廣	
大塚 和夫	林 行夫	櫻井 哲男	○防災対策委員会委員		
和田 浩司	高橋 柏	川西 正光	竹村 卓二	佐々木高明	杉本 尚次
吉田 哲廣			友枝 啓泰	藤井 知昭	和田 浩司
○出版委員会委員			糸金則由紀	森口 節之	山本 政治
友枝 啓泰	君島 久子	片倉 素子	奥出 栄治	高橋 柏	川西 正光
和田 祐一	崎山 理	周 達生	吉田 哲廣	○大学院委員会委員	
長野 泰彦	田邊 繁治	宮本 勝	藤井 知昭 竹村 卓二 佐々木高明		
和田 正平	小山 修三	中山 和芳	杉本 尚次	友枝 啓泰	片倉 素子
垂水 稔	ケネス・ラドル	野村 雅一	和 祐一	和田 浩司	
佐々木史郎	塚田 誠之	八杉 佳穂	○施設整備委員会委員		
朝倉 敏夫	吉田 憲司	奥出 栄治	藤井 知昭	佐々木高明	周 達生
○広報・事業委員会委員			栗田 靖之	福井 勝義	森田 恒之
藤井 知昭	石毛 直道	秋道 智彌	八杉 佳穂	和田 浩司	森口 節之
中牧 弘允	端 信行	山本 紀夫	山本 政治	高橋 柏	川西 正光
中山 和芳	ケネス・ラドル				
杉島 敬志	塚田 誠之	久保 正敏			

海外における研究・調査・収集活動

氏名	官職	出発	帰国	行先
松澤 員子	助教授(第二研究部)	63. 4. 19	63. 5. 10	アメリカ合衆国
栗田 靖之	助教授(第二研究部)	63. 4. 29	63. 5. 5	オーストラリア
田邊 繁治	助教授(第二研究部)	63. 5. 2	63. 6. 1	連合王国
藤井 知昭	教授(第五研究部)	63. 5. 8	63. 5. 14	台湾
庄司 博史	助手(第三研究部)	63. 5. 8	63. 6. 14	ハンガリー
杉村 棟	教授(第二研究部)	63. 5. 13	63. 6. 3	ソビエト社会主義共和国連邦
ケネス・ラドル	助教授(第五研究部)	63. 5. 20	63. 6. 20	マレーシア
ケネス・ラドル	助教授(第五研究部)	63. 6. 22	63. 7. 8	アイスランド
秋道 智彌	助教授(第一研究部)	63. 6. 24	63. 12. 12	パプア・ニューギニア

来館者抄

4月4日	Helene AHRWEILRE (フランス, パリ大学総長), Jacques AHRWEILER	劉 斌 雄 (台湾, 中央研究院民族学研究所研員)
4月8日	李 瑛 (中国人民解放軍総政治文化部部長) 陳 孟 君 (中国人民解放軍八一電影制片廠責任者) 李 泓 冰 (中国, 映画輸出入国外業務部日本担当)	臧 振 華 (台湾, 中央研究院歴史語言研究所研員) 玉 鑫 (台湾, 国立台湾大学地理学系教授) 林 恩 顯 (台湾, 国立政治大学叢政研究所所)
4月9日	Gloria Uride ZEA (コロンビア, ボゴダ美術館長), Giorgio ANTEI	陳 益 興 (台湾, 教育部社会教育司科長)
4月10日	周 作 民 (台湾, 教育部社会教育司長) 宋 文 薫 (台湾, 国立台湾大学人類学系教授) 連 照 美 (同, 同) 尹 建 中 (同, 同) 林 政 弘 (台湾, 教育部人事処処長)	4月12日 Maliavin Vladimir VIACHESLAVOVICH (Senior researcher, Institute of Ethnography, Academy of Sciences of the USSR) 4月18日 E. Jeffrey STANN (アメリカ合衆国, スミソニアン研究機構開発事務局館長代理) 夫妻 4月19日 オーストラリア・南オーストラリア州国土省大臣夫妻一行

- Roy ABBOT and Lois ABBOT (国土省大臣夫妻),
John DARIEY (国土省長官)
Terry CORRINS (国土省次官)
Keith FREEMAN (海洋省長官夫妻)
Ron SURRIVAN and Dot SURRIVAN (海洋省報道官夫妻)
- 4月21日 Joy Trinda HAYU (インド, インド国立クラフト博物館長)
Haku SHAH (インド, インド国立部族芸術博物館長)
- 4月27日 Vasilyev Vladimir IVANOVICH (Leading researcher, Institute of Ethnography, Academy of Sciences of the USSR),
R. Sh. DJARYLGASSINOVA (Research member, Institute of Ethnography, Academy of sciences of the USSR)
- 5月12日 朴 垚 洵 (大韓民国, 韓国国立民俗博物館展示課長)
金 宗 大 (大韓民国, 韓国国立民俗博物館学芸研究士)
- 5月19日 黄 光 学 (中国民族理論研究団体連合会理事長, 前國務院国家民族事務委員会副主任)
韓 英 烈 (吉林省長春市省教育庁副庁長)
李 禎 鎬 (黒龍江省哈爾濱市省民族事務委員会副主任)
張 賢 煥 (遼寧省沈陽市省民族事務委員会副主任)
李 兌 勳 (遼寧省民族事務委員会朝鮮語語文辦公室副主任)
- 5月26日 ソ連科学アカデミー民族学研究所部長一行
Mihail Vasilevich KRIUKOV (ソ連科学アカデミー民族学研究所部長)
Sevian Izrailevich VAINSHTEIN (同, 主任研究員)
Aleksand Mihailovich LESKOV (国立東方民族芸術博物館部長)
Elena Evgenevna FILIPPOVA (国立歴史博物館上級研究員)
Boris Ilich MARSHAK (エルミタージュ美術部長)
Bahodir Azizovich TURGUNOV (ウズベグ共和国ハムジ記念芸術研究所上級研究員)
Sue KODANI (アメリカ合衆国, ビショップ博物館事業計画次長)
Ken MILLER (同, ビショップ博物館プラネタリウム部長)
Bonnie JUDD (同, ビショップ博物館展示デザイナー)
- 5月31日 A.S. MSANGI (タンザニア, タンザニア科学研究審議会長官)
- 6月2日 諸澤 正道 (国立科学博物館長)
- 6月3日 昭和63年度集団研修国報処理要員養成研修員一行
尤 正 平 (中国, 上海科学技術情報研究所情報処理研究員)
Sayed Shemardy Mohamed El Sayed (エジプト, システムアナリスト)
Wafaa Ahmed Kamel Monsuur (同, システムアナリスト)
Bamhang Kuncorn (インドネシア, 情報処理分析センタープログラマー)
Omar Hassan (同, 情報処理分析センタープログラマー)
Talib Mtasher Mezel (イラク, 内務省)
Mazin Shaker Jssim Al-Zewary (同, システムデザイナー主任)
Rebeca Claveria Malacaman (フィリピン, 経済開発技官)
Merlon S. Veleria (同, アナリスト)
Agnes Wong LaiPeng (シンガポール, 日シソフトウェア技術研修センター講師)
Nok Yon Mei (同, 日ソフトウェア技術研修センター講師)
Surapol Thumasuwun (タイ, データ処理 秘書)
Salihe Sivri (トルコ, 情報処理センター主任技師)
- 6月4日 中国甘肅省博物館訪日考察団一行
吳 怡 如 (副館長・前館長)
趙 正 (副館長)
薛 俊 彦 (副館長)
徐 楽 堯 (歴史部主任)
張 朋 川 (歴史部主任)
- 6月6日 昭和63年度集団研修情報処理要員養成研修員一行
Silvia Magdalena Iovaldi (アルジェンチン, サンタブエ州経済財務省情報局企画部長)
Moyses Jerussalmy (ブラジル, サンパウロ州データ処理公社技術操作マネージャー)
Presia De Laurdes Farias-Garcia (チリ, 国家企画財務部長)
Memdouh Ibrahim Horez (エジプト, 外務省データバンク)

- プログラマー)
 Poon Yee Wah (香港, 政府データプロセス局アナリスト)
 Datl Lestari (インドネシア, 工業省中小企業局統計監査課長)
 Jang Kyung Seo (韓国, ボナム精油㈱前任システムアナリスト)
 Rosminah Bt Hussain (マレーシア, パーキマオタンコンピュータ社前任システムアナリスト)
 Ramon Maclel Rojaz (パラグワイ, 商工省輸出振興会データプロセス所長)
 Esmael I. Bausas (フィリピン, 耕地改革局情報管理サービス部長)
 Khaled Abdullah Bln-Dohaish (アラビア, 人事局データ情報システムマネジャー)
 Manikkawahandl Susliwardane (スリランカ, 予算企画省国際経済協力局副局長)
 Avudh Pnanda (タイ, 総理大臣室国家情報局経済データプロセス部長)
 Marco Mladineo (ユーゴスラビア, 電算操作センターデータプロセスマネジャー)
 6月7日 中国常州市世界語協会代表団一行
 団長 越 徳 本 (常州市哲学社会科学学会総合会副会長)
 章 振 之 (常州市世界語協会会長)
 張 常 生 (同, 副会長)
 6月10日 中国社会科学院歴史研究所代表団一行
 劉 重 日 (副研究員)
 何 齡 修 (副研究員)
 張 捷 夫 (副研究員)
 孫 新 (外事局助理研究員)
 6月13日 中国内モンゴル自治医社会教育視察訪日団一行
 団長 呉 炳 明 (内モン古工農牧教育管理委員会弁公室長, 内モン古教育庁職工教育処督導員)
 蘇日嘎拉圖 (シリングル盟成人教育委員会弁公室副主任)
 詰 曉 (アラシャン盟工農牧教育管理委員会副主任, アラシャン盟教育処副処長)
 特 格 舍 (ウランジャップ盟工農牧教育管理委員会副主任)
 6月14日 鳥海又八郎 (日本中央競馬会総務部総務課副長)
 上杉 昇 (同総務部次長)
 6月16日 石田文子 (川崎市教育委員会市民ミュージアム準備事務室主査代理)
 6月17日 Fosco MARIANI (イタリア, イタリア日本研究学会会長)
 中国蘇州市文化教育代表団一行
 団長 周 大 炎 (副市長)
 張 学 (人民政府外事弁公室副主任)
 岳 俊 傑 (文化局副局長)
 張 旺 健 (教育局副局長)
 曹 炳 棟 (社会科学理論研究会副会長)
 6月20日 Rochojad DAHLA (神戸インド総領事)
 6月24日 中国文学芸術界連合代表団一行
 露 菲 (中国文学芸術界連合会弁公庁主任, 中国作家協会会員 作家)
 何 南 丁 (河南省文学芸術界連合会主席 中国作家協会河南分会副主席 作家)
 袁 一 凡 (浙江省文学芸術界連合会書記処常務書記)
 張 子 良 (西安映画製作所編劇 脚本家)
 6月25日 大阪大学外国人留学生研修参加者一行
 Patrick Geoffrey Jonathan KELL, (ニュージーランド) ONG Mei, Chin, KOAY Hooi Hong, LIM Chin Chou, TONG Kok Hua, WANG Chan Chin, SIM Moh Chean (以上マレーシア)
 李嘉林, 沈 東, 郭正勇, 丁文君 (以上中国) 李 青 (香港)
 郭顯堂, 蔡政霖, 孫鏗微 (台湾)
 Ekkanant MAHAEKKANANT, Wachiraphan PHOTA, Supaporn CHARNMANOON (以上タイ)
 Yulius Yulianto SETIADY, (インドネシア) LEE Hee Kian, YEO Yong Seng (以上シンガポール)
 6月28日 フィリピン特設種子生産コース起員一行
 Dante V. Fidel
 Robert T. Masbang
 Fabio Gimena Enriquez
 Roy T. Tio
 Orlando O. Telmo
 Merlyn Pabalolot Ledesma
 Corazon Lauresta Logmao
 Nestor Abrigo Nava
 Santiago F. Allera
 Manioba M. Domaot

国立民族学博物館研究報告寄稿要項

1. 国立民族学博物館研究報告は、民族学（文化人類学）に関する論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等を掲載・発表することにより、民族学（文化人類学）の発展に寄与するものである。
2. 国立民族学博物館研究報告に寄稿することができる者は、次のとおりとする。
 - (1) 国立民族学博物館（以下「本館」という。）の教官（客員教授等を含む。）及び本館の組織、運営に関与する者
 - (2) 本館が受け入れた各種研究員及び研究協力者
 - (3) その他本館において適当と認めた者
3. 原稿を寄稿する場合は、論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等のうち、いずれであるかをその表紙に明記するものとする。なお、この区分についての最終的な調整は、国立民族学博物館研究報告編集委員会（以下「編集委員会」という。）において行う。（編集する場合は、原則として論文及び資料・研究ノートを1段組、その他のものを2段組として取り扱う。）
4. 原稿執筆における使用言語は、日本語、英語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語及びドイツ語のうちいずれを用いても差し支えない。ただし、その他の言語を用いる場合は、編集委員会に相談するものとする。
5. 特殊な文字、記号、印刷方法等が必要な場合は、編集委員会に相談するものとする。
6. 寄稿する原稿が論文で、日本語を使用する場合は、原則として英文により500語程度の要旨を付けるものとし、その他の言語による論文の場合は、編集委員会に相談するものとする。なお、寄稿する原稿については、執筆者名のローマ字表記及び原稿表題の英文を付記しなければならない。
7. 寄稿する原稿の枚数は、原則として制限しない。ただし、編集する場合は編集委員会の判断により、紙数等の関係から分割して掲載することがある。
8. 寄稿する原稿は、必ず清書（欧文の場合はタイプ）し、原稿の写し1部を添付するものとする。なお、図、表のスマ入れ、レタリングは、編集委員会で処理する。
9. 寄稿された原稿は、審査委員会において審査のうえ、採否を決定する。なお、原稿は、採否にかかわらず原則として返却しない。
10. 稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
11. 原稿の執筆に当っては、別に定める「国立民族学博物館研究報告執筆要領」による。
12. 原稿の寄稿先及び連絡先は、次のとおりとする。

〒565 大阪府吹田市千里 万博公園10-1

国立民族学博物館内

国立民族学博物館研究報告編集委員会（電話 代表 06-876-2151）

国立民族学博物館研究報告執筆要領

1. 原稿は、200字詰原稿用紙を使用し、横書きとする。
2. 原稿は、図、表を除き、原則として黒インクを使用する。
3. 日本語を使用して執筆する場合は、原則として当用漢字、現代かなづかいを用いる。
4. 句読点、括弧、各種記号等は、原則として原稿用紙のマス目1字分の扱いをする。
5. 原稿中の年号、月日及びその他の数字は、原則としてアラビア数字を用いる。なお、年号は、原則として西暦とする。
6. 図及び表は、一図、一表ごとに別紙に書き、本文とは別に一括して添付するものとする。なお、図、表ごとに通し番号（「図1」、「表1」等の要領により記入）、図、表名及び説明並びに出典等を記し、本文原稿の欄外には、それぞれのそう入箇所を指定するものとする。
7. 写真は、写りの明瞭なもので、手札判以上の大きさに焼き付けたものに限る、図及び表の扱いに準じて通し番号、説明を付けたうえ、そう入箇所を指定するものとする。ただし、カラー写真は、原則として受け付けない。
8. 本文又は脚注において文献を指示する場合は、カギ括弧を付け、著者名、文献刊行年次、引用ページ数の順に下記の例に従って記載する。

[柳田 1942: 67-69]
[Leach 1961: 123]
[柳田 1942: 67-69, 1944: 20-22; Leach 1961: 123]

ただし、同年次刊行物の場合は、アルファベット順により、下記のように記載するものとする。

[柳田 1942a: 20-22] [柳田 1942b: 10]
9. 脚注は、一つ一つ別紙に記し、通し番号を付ける。なお、本文中に脚注をそう入する箇所には、脚注の当該番号を記入し、別紙の脚注には、本文のページ数を明記するものとする。
10. 本文及び脚注において参照した文献は、すべて原稿の末尾にまとめて下記の方法により記入する。
 - (1) 文献の配列は、著者名のアルファベット順とすること。
 - (2) 文献の記載は、著者名、年号、論題（タイトル）、誌名、巻、号、出版社名の順とすること。欧文の雑誌名及び単行本名は、イタリック体にするため、原稿には下線を引くこと。また、ローマ字人名は、スモール・キャピタルとするため、二重下線を引き、日本文の場合は、論題にカギ括弧、雑誌名及び単行本名に二重のカギ括弧を付けること。雑誌の巻数及び号数は、原則としてアラビア数字を用いること。

(例)

論文の場合 (1)

石田英一郎

1948 「文化史的民族学成立の基本問題」『民族学研究』 13(4): 311-330。

Bohannan, P.

1973 Rethinking Culture: A Project for Current Anthropologist. Current Anthropology 14(4): 357-372.

論文の場合 (2)

杉浦 健一

1942 「民間信仰の話」柳田国男編『日本民俗学研究』岩波書店, pp. 117-143。

Leach, Edmund

- 1964 Anthropological Aspects of Language: Animal Categories and Verbal Abuse.
In Eric H. Lennenberg (ed.), New Directions in the Study of Language,
The M. I. T. Press, pp. 23-63.

単行本の場合

泉 靖一

- 1966 『文明をもった生物』 日本放送出版協会。

Murdock, George P. (ed.)

- 1960 Social Structure in Southeast Asia. Viking Fund Publications in Anthropology No. 29, Wenner-Gren Foundation for Anthropological Research, Inc.

翻訳書の場合

エリアーデ, M.

- 1974 『シャーマニズム——古代のエクスタシー技術——』 堀一郎訳 冬樹社。

van Gennep, Arnold

- 1960 The Rites of Passage. M. B. Vizedom and G. L. Caffee, trans., The University of Chicago Press.

国立民族学博物館研究報告 13卷2号

〔監 修〕

梅 棹 忠 夫

〔編集委員長〕

友 枝 啓 泰

〔編集委員〕

朝 倉 敏 夫

片 倉 素 子

小 山 修 三

ケネス・ラドル

崎 山 理 生

周 達 生

田 中 雅 一

田 邊 繁 治

垂 水 稔

中 山 和 芳

長 野 泰 彦

宮 本 勝 司

吉 田 憲 平

和 田 正 平

昭和 63 年 10 月 17 日 発 行 非 売 品

国立民族学博物館研究報告 13卷2号

編集・発行 国立民族学博物館
〒565 吹田市千里万博公園10-1
TEL 06 (876) 2151 (代表)

印 刷 中西印刷株式会社
〒602 京都市上京区下立売通小川東入
TEL 075 (441) 3155 (代表)

Bulletin of the National Museum of Ethnology
vol.13 no.2
1988

- SUGISHIMA, Takashi** House as Setting: On the Symbolism of the House in Eastern Indonesia
- TAKATANI, Michio** Urban Character of Festivals in Burma
- FUKAZAWA, Hideo** Some Unconsidered Aspects of Omnipresent and Unseen Sorcery among the Tsimihety of Northern Madagascar
- WATANABE, Hitoshi** The Northern Pacific Maritime Culture Zone: A Viewpoint from Hunter-Gatherers I
- SAITO, Shinji** A Tentative Reading of "Olonkho": In Quest of an Original Image of the Yakuts and their Domestic Animals
- ISHIGE, Naomichi** An Ethnolinguistic Study of the Nomenclature of Fermented Fish Products in Asia: A Study of Fermented Aquatic Products (7)
- SAKIYAMA, Osamu**
- MATSUYAMA, Toshio** Maradjiri, the Star Ceremony in Djinang: A Record of Making Ethnological Films on Contemporary Arnhem Land Aborigines



National Museum
of Ethnology

Senri Expo Park, Suita, Osaka, Japan
phone 06-876-2151

ISSN 0385-180X